



東京新都心ロータリークラブ

【お互いを尊重し、楽しく豊かなロータリーライフを送りましょう】

Shintoshin Weekly

〒160-0023 新宿区西新宿2-7-2 ハイアットリージェンシー 東京11階

TEL : 03-3340-3555 FAX : 03-3340-3554

HP : <http://www.tokyo-shintoshin-rc.org> E-mail : shintoshin-rc@par.odn.ne.jp

会長 山口昭夫 幹事 石川佳照 創立 : 1988年9月21日

拙著『ロータリークラブに入ろう！』の論点～クラブに共通する問題点と会員増強の方法～

国際ロータリー第2840地区 パストガバナー 田中 久夫 氏

【講演要旨】

1 これまで全国の地区・クラブを訪問し、多くのクラブには共通した4つの問題点があることを知った。それらを解決すれば、そのクラブは活性化し、会員増強が達成できることも経験してきた。共通する4つの問題点とは、①シニア会員の立ち位置、②新会員へのフォロー不足、③クラブ会長ほか幹部のヤル気の不足、④女性・若手会員を入れられないこと、に尽きる。最近のRIではDEI方針を強烈にアピールしている。その意味を深く考えてみて欲しい。DEIの考え方は、4つの問題点を解決するヒントを与えてくれている。

2 かつて、私が会長（2014-2015）を務めた高崎RCの場合、1年間で純増51人を果たした（年度初64人（女性0人）～年度末115人（女性7人））。その方策は、①毎月開催した「夜間・会員増強会議」、②「三種の神器」を作り全会員に携行させた、③候補者からの各種質問の応対するための勉強会、④「ロータリー説明会」の開催、⑤「例会」の工夫、⑥メークを奨励し表彰した、⑦若手会員を積極的に登用した、などである。若手会員が一丸となって目標完遂にまい進した。その経験は現在でも活かしている。現在は当2840地区内最大の135人の大クラブに成長した。

3 決して間違っていないことは、会員増強の提要是、誘う側（例えばクラブ会長や会員増強委員長）の保身のためではなく、誘われている側の立場を良く理解することだ。つまりは、①「ロータリーに入ることがどれだけ本人の為になるのか」を、②「その本人自身がよく理解してくれること」が大切なのだ。誘った私たちが悦びとするのは、「新会員がクラブの中でいかに楽しそうに、嬉しそうにしている姿を見ること」だと思う。



国際ロータリー第2840地区 パストガバナー

たなか ひさお

田中 久夫（高崎RC）

E-mail : tanaka@rid2840.org

【略 歴】

- 生年月日： 1957（昭和32）年2月23日 群馬県高崎市生まれ
（2/23はロータリー記念日です）
- 現 職： 高崎経済大学名誉教授・経営学博士、新潟産業大学経済学部特任教授
さくらジャパン税理士法人・税理士、いしかわ観光特使、日本ペンクラブ会員
- ロータリーの役職： 国際ロータリー第1地域ARPIC（公財）ロータリー米山記念奨学会常務理事

【ロータリー関連】

《履 歴》

〈クラブ〉1998年4月 高崎ロータリークラブ入会

2014-15年度 会長（この1年間にクラブの会員数を年度当初64人（女性0人）から年度末115人（同7人）へと51人増強した）

〈地 区〉2017-18年度 ガバナー（この1年間に地区の会員数を50人増強した）

2018-現在 パストガバナー

〈その他〉ベネファクター、ポール・ハリス・フェロー（マルチプル）、メジャードナー、米山功労者メジャードナー（第18回）

《ロータリーに関連する著書》

・2021年6月『ロータリークラブに入ろう！』幻冬舎ルネッサンス新書

2022年11月16日(水) 第1528回例会

拙著『ロータリークラブに入ろう！』の論点
～クラブに共通する問題点と会員増強の方法～

国際ロータリー第2840地区

パストガバナー 田中 久夫 氏（高崎RC）

次のプログラム

2022年11月30日(水) 第1529回例会

「嶋村文男ガバナー公式訪問」

12:30～13:30 例会

13:40～15:00 ガバナー公式訪問フォーラム